

生物基礎

指導目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
------	--

教材	教科書：東京書籍 学習書：新編 生物基礎 学習書 ネットレポート	レポート 面接指導 放送 到達度チェック・試験	全9回 必要時間数：3時間（※面接指導減免6割の学習者は必要5時間） 全40回（原則N-gaku Online Spaceで視聴） 中間到達度チェック（9月）・年度末試験（1月）
----	--	----------------------------------	--

単位	3単位
評価	【①知識・技能】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックおよび年度末試験での成果にもとづき評価します。 【②思考・判断・表現】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックおよび年度末試験での成果にもとづき評価します。 【③主体的に学習に取り組む態度】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェック、レポート提出状況（提出期限）、スクーリング出席状況（必要時間の出席充足）、放送視聴状況にもとづき評価します。上記①～③の総合評価により、年度末に5段階で評定を決定します。

添削指導（レポート）		面接指導（スクーリング）		放送（NHK高校講座）		オンライン指導		到達度チェック 年度末試験	
月	回（提出期限）	指導単元・項目	週	指導内容・学習活動等	回	内容	内容	内容・範囲	
4			1	①②オリエンテーション 1年間の学習の進め方	1	生物の特徴	①1年間の学習の進め方		
			2	第1回レポート「生物とは何か、5つの特徴」を確認。	2	生物の多様性 生物の共通性 細胞の特徴			
			3						
			4						
5			1	③④第1回レポート (1)顕微鏡、または映像や写真などで細胞の構造とはたらきを確認する。（生物の多様性と共通性）	5	生体とATP			
			2	(2)ATPの構造について確認する。（生物とエネルギー） (3)呼吸、光合成の反応を例に、代謝について理解する。（呼吸と光合成）	6	酵素のはたらき			
			3		7	呼吸			
			4		8	光合成			
6	1回 6/15	・生物の多様性 ・生物の共通性 ・細胞の特徴 ・生体とATP ・酵素のはたらき ・呼吸と光合成	1	⑤⑥第2回レポート (1)遺伝子とは何か、DNAや染色体、ゲノムとの違いを理解する。（生物と遺伝子）	9	生物と遺伝子			
	6		2	(2)DNAの構造について確認する。（DNAの構造） (3)科学史を確認する。（歴史とのつながり） (4)DNAがどのようにして増えているのか理解する。（DNAの複製と分配）	10	DNAの構造			
			3		11	DNAの複製と分配			
			4		12	タンパク質			
7	2回 7/5	・生物と遺伝子 ・DNAの構造 ・DNAの複製と分配	1	⑦⑧第3回レポート (1)ヒトの体の構成成分を確認する。（タンパク質）	13	タンパク質と遺伝情報①			
	7		2	(2)タンパク質が合成されるまでの過程を理解する。（タンパク質と遺伝情報） (3)遺伝子の発現について理解する。（細胞の分化と遺伝子）	14	タンパク質と遺伝情報②			
			3		15	細胞の分化と遺伝子 (16)（遺伝子と私たち）			
			4						※ 中間前最後のスクーリングの場合は、中間の範囲（第1回～第3回）の振返りでも可。
8	3回 8/5	・タンパク質 ・タンパク質と遺伝情報 ・細胞の分化と遺伝子	1	⑨⑩第4回レポート (1)体内環境とは何か、体内環境を維持するしくみについて理解する。（体内環境）	(夏期講座)		② 中間到達度チェックの範囲と学習のポイント・復習		
	8		2	(2)神経系が体内環境の維持についてどのようにかかわっているか、脳の構造とはたらきについて理解する。（神経系による情報伝達）	(夏期講座)				
			3		17	体内環境			
			4						※ 中間前最後のスクーリングの場合は、中間の範囲（第1回～第3回）の振返りでも可。

9	4回 9/30	・体内環境 ・神経系による情報伝達	⑪⑫第5回レポート 1 (1)ホルモンとは何か確認する。(内分泌系による情報伝達) 2 (2)どこの内分泌腺で何というホルモンがつくられているか、はたらきと一緒に整理する。(内分泌系による情報伝達) 3 (3)血糖濃度の調節を遠し、神経系と内分泌腺どちらも関係していることを確認する。(血糖濃度の調節) 4 (4)肝臓・腎臓のはたらきと構造を理解する。(人体図鑑)	18 神経系による情報伝達① 19 神経系による情報伝達②		中間到達度チェック 範囲:レポート 1～3回 実施月 9月 追試 10月
				20 内分泌系による情報伝達 21 血糖濃度の調節		
10	5回 10/20	・内分泌系による情報伝達 ・血糖濃度の調節 ・人体図鑑	⑬⑭第6回レポート 1 (1)免疫とは何か確認する。(免疫のしくみ) 2 (2)免疫にかかわっているものの種類とはたらきを整理し、理解する。(免疫のしくみ) 3 (3)自然免疫と適応免疫とはどんなものか理解する。(免疫のしくみ) 4 (4)免疫のしくみを利用した予防について理解する。(免疫の応用)	22 人体図鑑 23 免疫のしくみ①		
			3 (5)免疫のしくみが過敏に反応したりすることで、ヒトの体にどのような影響があるのか理解する。(免疫とさまざまな疾患) 4	24 免疫のしくみ② 25 免疫の応用 26 免疫と様々な疾患		
11	6回 11/15	・免疫のしくみ ・免疫の応用 ・免疫とさまざまな疾患	⑮⑯第7回レポート 1 (1)用語と森林の階層構造を確認する。(身のまわりの植生) 2 (2)植物の環境形成が遷移とかがわっていることを理解する。(植生の遷移)	(27) (体内環境と私たち) 28 身のまわりの植生①		
			3 4	29 身のまわりの植生② 30 植生の遷移		
12	7回 12/15	・身のまわりの植生 ・植生の遷移	⑰⑱第8回レポート 1 (1)用語を確認した後、世界のおもな陸上のバイオームを理解する。(遷移とバイオーム) 2 (2)日本が縦長の国であることから、バイオームにどのような特徴があるのか確認する。(遷移とバイオーム)	(31) 応 32 遷移とバイオーム① ～世界のバイオーム～	③ 年度末試験の範囲と学習のポイント・復習	
			3 ※年度末試験直前でもあるため、年度末試験の範囲(第4回～第6回)についての振り返りでも可。 4	33 遷移とバイオーム② ～日本のバイオーム～		
1	8回 1/5	・遷移とバイオーム	⑲⑳第9回レポート 1 (1)用語を確認した後、生体ピラミッドを確認する。(生態系における生物の多様性) 2 (2)「自然とのつながり」から、生態系のバランスが崩れるとどういったことが起こりえるのか理解する。(生態系における生物間関係) 3 (3)人間の活動が生態系にどのような影響を及ぼしているのか理解する。(生態系と人為的攪乱) 4	34 生態系における生物の多様性① 35 生態系における生物の多様性②		年度末試験 範囲:レポート 4～6回 実施月:1月 追試:2月
				36 生態系における生物間関係 37 生態系と人為的攪乱		
2	9回 2/15	・生態系における生物の多様性 ・生態系における生物間関係 ・生態系と人為的攪乱	㉑㉒レポート範囲外 1 (1)身近にいる外来生物を確認しながら、生態系について考察する。(生態系の保全) 2 (2)1年間の学習を振り返り、改めて生物とは何か確認する。	38 生態系の保全① 39 生態系の保全②		
			3 4	40 生態系と私たち		
3			1 2	(春期講座)		
			3 4	(春期講座)		